



先生方の思い

拡大学年会での発言を要約して載せる。(実際はすべて関連する生徒の実名入り…)

<遅刻・欠席>

- A：とにかく遅刻・欠席が多すぎる。
- B：他クラスでは遅刻・欠席がちな生徒が周りのまじめさに助けられるが、15Rでは一部のだらしない生徒の行動で、遅刻・欠席予備軍が顕在化してしまう。
- C：チャイムが鳴ってからロッカーに行く。
- D：教室移動で遅れる。他のクラスは遅れないし、前の授業を言い訳にする生徒がいるが、他の生徒は間に合っている。急ごうという気持ちと、遅れた時の謙虚さの問題。
- E：小テスト中に入室。他の生徒の迷惑。

<授業>

- F：何ごとにも興味はないといった表情の生徒がいてやりにくい。やる気を無くす。
- G：脱線してもノリが悪く、下らないところに食いつくだけなので、淡々と教科書の内容をこなすだけにした。
- H：授業中の内職・マンガ。レベルの低さに驚く。
- I：プールの後、集中力を維持させることに気を使うため、授業そのものに気を使う余裕がなく、質的低下が心配。
- J：授業に意識が向いていない生徒がいる。
- K：このままでは、日比谷の授業についてこれそうもない印象の生徒がいる。
- L：欠席が多くても、必ずしも成績が悪いとは限らず、がんばらせたい。
- M：特定の話題には興味を示す。もっと広く

知的好奇心をもってくれるとイイのだが。

*

遅刻は(一部の欠席も)意識の問題であると思う。朝体調がすぐれないとか、低血圧とか色々な理由はあると思うが、それなら起床を1時間早くして、体調が整うのを待ってから登校するなど、いくらでも解決策はあるはずだ。朝が弱いと自覚しながら夜更かしをしているとすれば、もってのほかである。

授業に対するけじめのない態度はぜひ反省すること。授業がつまらないのではない。一部の生徒のだらしない態度が、授業をつまらなくしている可能性がある。例えば、FやGやIの発言。日比谷の先生方のイイ所は、教科書を離れ、それを越えていく雑談の部分である。そういう話の時に、積極的な聞く姿勢を見せ、同時に、話がもとにもどった時にサッと集中し直す、そういう雰囲気、より豊かで広がりのある世界を垣間見せてくれるのであるが、今の君たちはそういうチャンスを自ら失っているのである。レベルの高い授業は、「レベルの高い先生とレベルの高い生徒が一緒になって創るもの」であることを忘れずに。

どちらにしろ、個人の問題がクラス全体に影響していることを認識してほしい。

*

この時期にこのような会議するのは、今ならまだ「間に合う」からである。ここで実名を出し合うのは、みんなでその生徒を注意して見守りながら指導しようということである。その先生方の思いに応えてほしい。